

《年主題》 共にあゆむ

《月主題》 ためして

《月目標》 ・豊かな秋の実りを喜び、神様に感謝する

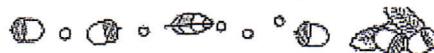
- ・いろいろな働きによって私達の生活が、支えられていることを知る
- ・自分の気持ちや考えを表現し、友達や保育者と支え合う喜びを感じる



先月は、ばらのお友達のグループが変わり、また、わかばのお友達も幼児フロアに引っ越しをしてきました。ばらのグループ発表の日のことを、幼児ぐみ全員には前もって話していたことで、見通しをもつことは出来ていましたが、今まで一緒に過ごしてきたグループのばらさんがいなくなることで寂しくなっていたお友達がいました。また、わかばのお友達が移行してきたことで、ゆりさんやばらさんがわかばさんのお手伝いに行くことが増えたことで、今まで一番にお世話してもらったさくらのお友達が少し寂しくなっているようです。ゆりさんやばらさんに来てほしくて自分でできることもせず、待っていたり、来てくれると嬉しいようです。その様子を見てみると、今まで一緒に楽しんできたことで良い関係が出来ていたことを感じました。これからも、グループ・お相手さんとの関係を良くし、楽しく過ごしていきたいと思います。わかばさんは、2階に上がってきたことで「すみれさん」と呼ばれるようになりました。乳児フロアでは、一番大きかったすみれさんも幼児フロアに引っ越し一番小さいお友達になりました。お相手のお兄さん・お姉さんに上手に甘えながら、幼児フロアの生活を楽しんでほしいと思っています。

この季節、いろいろな果物が色づき始め、畑の野菜もたくさん収穫されます。果物や野菜を食べることで、いろいろな人達がお世話してくれていることに感謝する気持ちが持てるように、日々の保育の中で伝えていきたいと思っています。また、色々な恵みを神様が与えて下さっていることにも感謝していきたいと思っています。

《はいぜん たのしいな》



ばらさんのお当番が始まり、ゆりさんには先生のお手伝いの配膳をしてもらっています。最初は、おやつ配膳からはじめ、皿にのせたり、お茶や牛乳をコップに入れていったりしています。配膳をしながら、「コレ タノシイナ」とお友達と話しながら楽しんでいきます。また、空になったお替り用のトレーやボール、牛乳パックを調理室まで運ぶことも楽しんでいきます。お当番は決められた人がすること、お手伝いは自分から気づいてすることと話をしながら、誰かの役に立つ喜びを感じてくれればと思います。



絵本《つみつき でんしゃ》



歌《くだものれっしゃ》

いろいろな動物たちが電車に乗って出かけていきながら、かきもぎ・くりひろい・きのこがりと停車しながら楽しんでいくお話です。♪くだものれっしゃ♪のうたに出てくる果物と合わせながら、パネルシアターを作ることを楽しんでいます。お相手さんと繋がってれっしゃになり、歌いながら動くことを楽しんでいきます。